

18. 放射線科 臨床研修プログラム (選択)

1. 研修目標【GIO】

放射線科関連検査 (X 線検査、核医学検査、PET 検査、MRI 検査、CT 検査等)と放射線治療における適応、原理、方法、並びに禁忌、放射線障害の予防の基本について理解する。

2. 研修期間 研修期間 4 週～40 週

3. プログラム指導者と参加施設

プログラム指導者 放射線診断科 櫻井 幸太
放射線治療科 小川 心一
基幹病院 中部国際医療センター

4. 行動目標【SBOs】

- 1) 単純 X 線撮影、断層撮影、造影検査、CT 検査、MRI 検査、PET 検査、RI 検査の原理と適応を理解する。
- 2) 造影剤の種類、適応、使用方法を理解し副作用に対処できる。
- 3) 各種単純撮影において主要疾患の画像所見を理解、鑑別、読影できる。
- 4) 尿路造影検査、胆道造影検査において主要疾患の画像所見を理解、鑑別、読影できる。
- 5) CT 検査において、主要疾患の画像所見を理解、鑑別、読影できる。
- 6) MRI 検査において、主要疾患の画像所見を理解、鑑別、読影できる。
- 7) 核医学検査において、主要疾患の画像所見を理解、鑑別、読影できる。また、主要放射性同位元素及び放射線医薬品について、取扱い上注意すべき点について理解する。
- 8) 放射線治療について、基礎的な知識を習得し、治療計画に参加し、放射線治療の適応と副作用を理解する。
- 9) 放射線生物学の基本を理解する。その上で、一般人、医療従事者、患者の放射線被爆防護ができる。

5. 指導体制【LS】

- 1) 研修医は、常に指導医のもとに行動することを原則とする。特に危険を伴うと考えられる検査、処置、および手術は担当指導医の看視下で行う。
- 2) 救急患者が搬入されたときは、出来るだけその初期診療から関係を持ち診療する。
- 3) 指導医の誰かが当直をするときは、副直となり病棟での救急処置や時間外患者の救急処置について学ぶ。

6. 評価方法【Ev】

指導医は、自己評価結果を随時点検し、研修医の到達目標を援助する。

7. 週間スケジュール

(放射線診断科)

	月	火	水	木	金
午前	8:00~乳腺 カンファレンス 8:30~救急読影	8:30~救急読影 一般画像診断	8:30~救急読影	8:30~救急読影	8:30~救急読影
午後	一般画像診断 CT、MRI、PET、核 医学ティーチングフ ァイル	一般画像診断 CT、MRI、PET、核 医学ティーチングフ ァイル	一般画像診断 CT、MRI、PET、核 医学、IVR	一般画像診断 CT、MRI、PET、核 医学ティーチングフ ァイル English Conference	一般画像診断 CT、MRI、PET、核 医学ティーチングフ ァイル
夕方	岐阜県放射線科合同 オンラインカンファ レンス	岐阜県放射線科合同 オンラインカンファ レンス	合同オンライン カンファレンス 消化器 キャンサーボード	岐阜県放射線科合同 オンラインカンファ レンス	岐阜県放射線科合同 オンラインカンファ レンス
備考	第一月曜もしくは火曜は 18 時より 医局+医局研修勉強会 第三月曜は 17 時半より乳腺キャンサーボード 第一、第三木曜は 18 時より研修医勉強会、研修会講義				

(放射線治療科)

	月	火	水	木	金
午前	外来診療	外来診療	放射線治療計画	外来診療	外来診療
午後	外来診療 放射線治療計画 (病棟)	外来診療 放射線治療計画 (病棟)	放射線治療計画 (小線源治療) (病棟)	外来診療 放射線治療計画 (病棟)	放射線治療計画 (病棟)
夕方					
備考					